



Design Spot575E

取扱説明書

Ver 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は ELATION Design Spot 575E をご購入頂き、誠にありがとうございます。

Design Spot 575E は DMX 規格に対応しており、DMX コントローラーで操作することが可能です。

Design Spot 575E の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意下さい。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手が触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意下さい。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注: ディスチャージ・ランプを直接見ることは絶対に避けて下さい。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。再度使用する場合は 10 分以上クールダウンをしてから電源を入れご使用下さい。

照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為、長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージ・ランプが装填されている製品を使用する際にはくれぐれもご注意下さい。また、使用中に本体を開けることは危険ですのでお止め下さい。

安全上のご注意

Design Spot 575E は精密電子機器です。本製品を安定してお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読み下さい。

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- 本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- メンテナンス以外の目的において本体のカバーを外さないで下さい。
- 必ず風通しの良い天井、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は使用を止めて下さい。
- 本製品を天井から吊るす場合、必ずセーフティーケーブルおよび対応クランプを使用して設置して下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 急激に温度差の違う場所に移動した場合はすぐにスイッチを入れしないで下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 電源ケーブルはかならずプラグをもって抜き差しして下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
- 操作中、温度が上がっている事があるので、ハウジングには触れないで下さい。
- 光源を直接見ないでください。

本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。
メンテナンス以外の目的において、無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

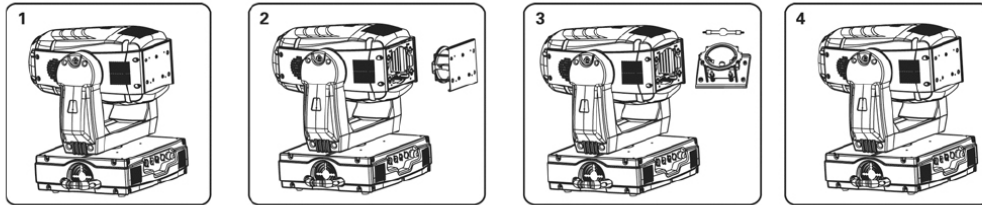
基本仕様

- PHILIPS ZB-MSR GOLD 575SA/2 DE ランプを使用
- DMX512 による操作、24 チャンネル(16 ビット)、22 チャンネル(8 ビット)
- マスター/スレーブ機能付きスタンドアローン操作、サウンドアクティブによる操作が可能
- パン/チルト動作: スムースで正確な 8 ビット/16 ビットの解像度
 - ・パン: 540°/630° オプション、チルト: 265° の動作
 - ・パン/チルトのスピード調整が可能
 - ・スキャンポジションメモリー、オート位置補正機能
- CMY カラーミックスで無限のカラーエフェクトを作り出します。
- 7 色のモーター式カラーホイール、1UV フィルター+オープン、レインボーエフェクトは双方向でスピード調整が可能。
- プリセットのカラーとゴボマクロ
- 6 つの回転ゴボとオープンで利用できるゴボホイールを 2 つ搭載、様々なスピードでゴボのシェイキング、レインボーエフェクト、ゴボの組み合わせが可能。
- 双方向に、様々なスピードで操作可能な回転プリズム
- 回転ゴボと回転プリズムのコンビネーションに使えるマクロエフェクト
- アニメーションフレームエフェクト
- モーター式フォーカス
- 16° ~ 30° のリニアズーム
- デイマー操作範囲: 0 ~ 100%
- パルスアイリスエフェクトつきビルトイン・アイリス (5 ~ 100%)
- 様々なソフトビームを照射可能なフロスト (0 ~ 100%)
- プリセットのアイリス、デイマー、シャッター、フロストパルスエフェクト
- 毎秒 1-10 回フラッシュするストロボエフェクト、シャッターによるランダムストロボ
- 見やすいカラー LCD ディスプレイ
- バッテリーバッファ型コントロールボードで操作時間の読み取りが可能。
- ローカル/リモート操作による ON/OFF
- 8 つのプリセットプログラムが DMX 操作で呼び出し可能。
- 編集可能なプログラム。編集したプログラムをコントロールボードか外部コントロールを使って EEPROM に保存可能。最大 250 のシーンを保存し、スタンドアローン・サウンドアクティブモードで使用する事が出来ます。
- プログラムランの数々のシーンを個別に変更する事が可能。

電球の交換方法

電球を交換する前にまず電源を切り、電球の熱が冷めたことを確認して下さい。

取り付け手順



1. ランプが取り付けられているプレートを支えながら、ハウジング裏面の A、B、C、D と表示されたネジ 4 本を外して下さい。
2. ソケットホルダーをゆっくり取り出して下さい。
3. ソケットに電球を取り付けます。必ず Philips ZB-MSR575 SA/2 DE ランプを使用して下さい。
4. ソケットにランプを取り付け後、ソケットホルダーを元の位置に戻し、ネジを締めて固定して下さい。
5. ランプ交換が終わったら必ずランプの位置調整を行ってください。

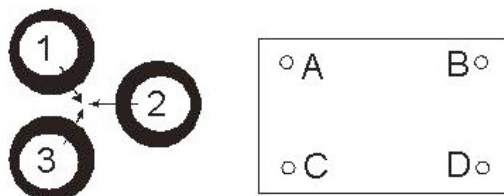
ランプ位置の微調整

ランプを交換する度にランプ位置を微調整する必要があります。これはランプをリフレクターの中央部に位置付けるもので、正しく調整する事で電球の寿命を延ばし、灯体もより明るく鮮明に出力されるようになります。逆にこの調整を正しく行わないと、光が黄ばみ、輝度が低くなります。最低偏差は 1.0mm です。それ以下の偏差で灯体を使用した場合、ランプ/レンズにダメージを与えることがあります。

Design Spot 575E は出荷時にランプホルダーの位置調整を行っていますが、ランプには固体差があるため、細かく調整をする事によって灯体のパフォーマンスが高まる場合があります。以下の手順で正しいランプ位置調整を行ってください。

1. DMX コントローラー、もしくは本機コントロールパネルを使ってランプを点灯させ、光を平らな面に合わせます。(シャッターオープンの状態に設定します)
2. 下記の図にあるように、1、2、3 と表記された 3 つの調整ネジを使って、ホットスポット(ビームの最も明るい箇所)を中央にあわせます。ネジを一つずつ回して、投影された映像上でホットスポットを対角線上に動かしていきます。もしホットスポットが判らなければ、光が均一になるまでランプを調節します。
3. ホットスポットが明るすぎる場合は、光が均等に出力されるまで 3 つのネジを一つずつ、時計回りに 1/4 回転ずつ締めていきます。

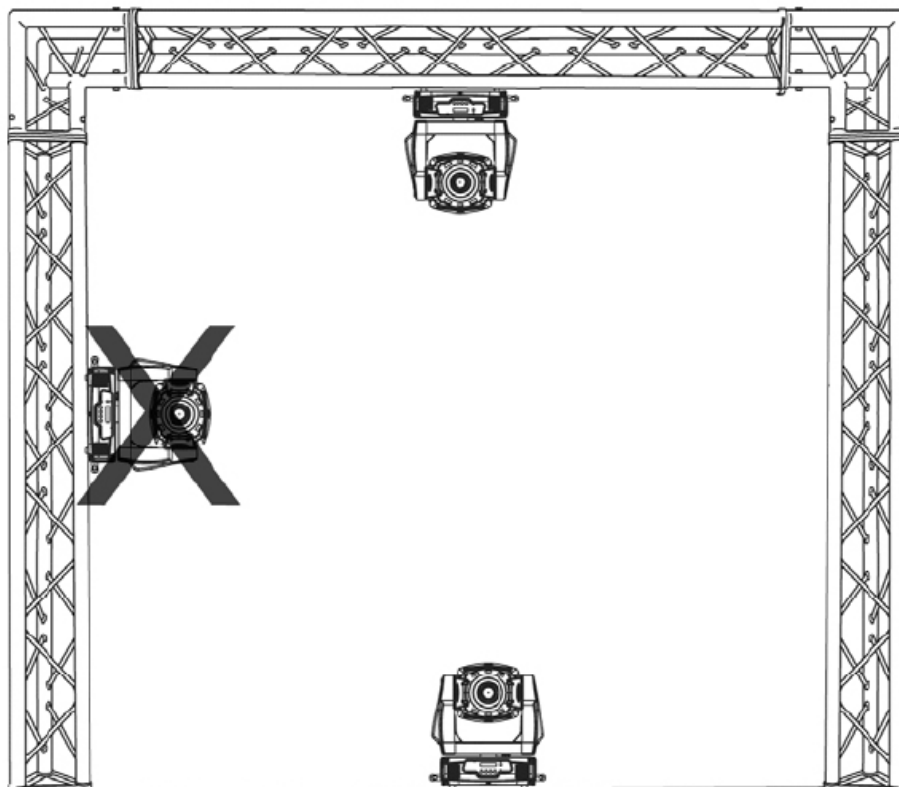
4. 端の方が中央部よりも明るい、もしくは光の出力が低いようであれば、ランプはリフレクター後方に位置していることになります。各ネジを反時計回りに回すことによってランプを押し出し、ライトが十分明るく、均一に出力されるようにします。



※ ZB-MSR575 SA/2 は瞬時再点灯タイプではありません。一度電源をオフにした場合、再度点灯させるまでは 10 分ほどの時間が必要になります。この間は電源をいれても点灯しません。

本体の設置方法

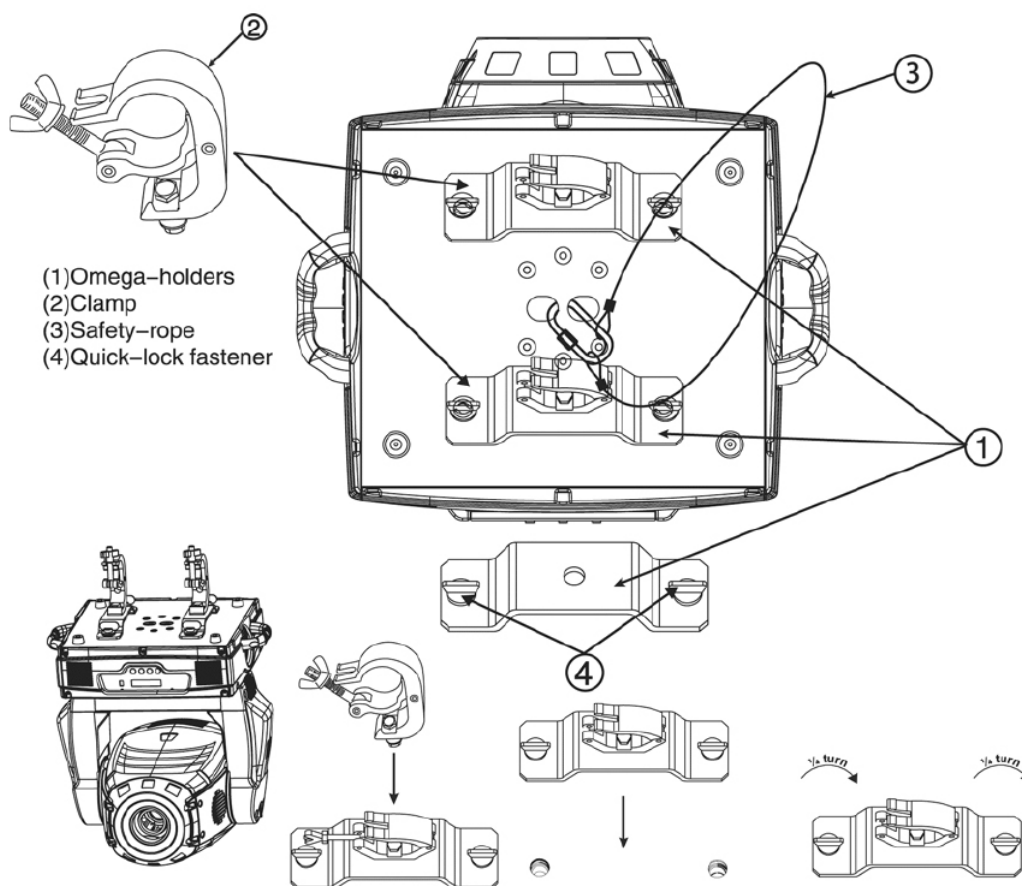
いかなる場所に設置する際も、設置面が Design Spot 575E の最低 10 倍の荷重に耐えうることを確認してください。またセーフティーケーブルを使って、2 次的な安全を確保してください。灯体の設置時、及び撤去時には絶対に真下に立たないようにしてください。



クランプを使用した設置方法

各クランプを M12 スクリューとナットでオメガホルダーに取り付けます。始めのオメガホルダーのクイック・ロック金具を、本体底にある各穴にはめ込みます。

クイック・ロック金具を時計回りに締めこみます。同様に 2 つ目のオメガホルダーを取り付けます。セーフティーワイヤーを本体底部の穴に通し、トラスシステム及び安全な設置位置に引っ掛けます。カラビナに通し、セーフティースクリューで固定します。



DMX について

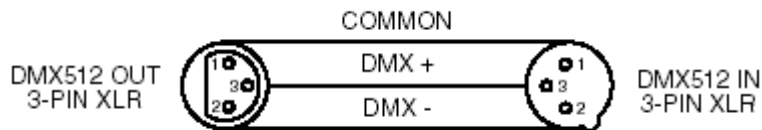
DMX-512

DMX は照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用し行います。

お手持ちの XLR ケーブルをコントローラーの XLR メス出力端子に接続し、もう片方を灯体の XLR オス入力端子に接続します。シリアル(直列)接続することにより複数の灯体をつなぐ事が可能です。(DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。)

ピンアサインについては以下の図を参照下さい。



5ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを Design Spot575E に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

DMX Output
3-Pin XLR Socket



DMX Input
3-Pin XLR Socket



- 1: Ground
- 2: Data (-)
- 3: Data (+)

DMX Output
5-Pin XLR Socket



DMX Input
5-Pin XLR Socket



- 1: Ground
- 2: Data (-)
- 3: Data (+)
- 4: Open
- 5: Open

DMXターミネーターについて

数10m もしくは100m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは一番最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は本書巻末を参照して下さい。

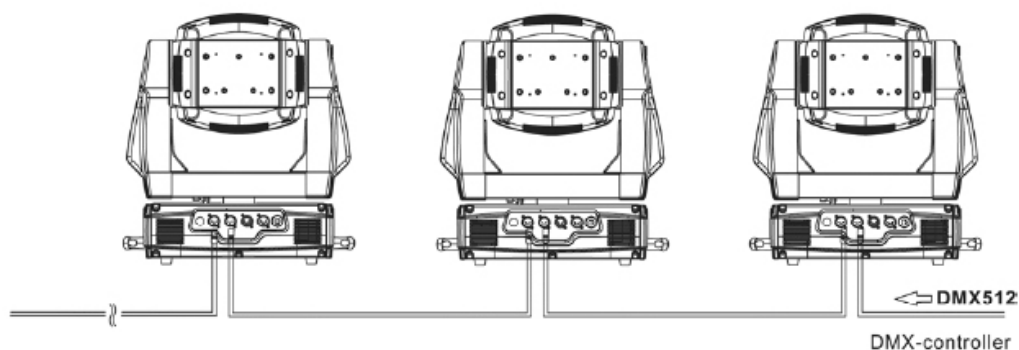
DMX スタートアドレスの選択

DMX シグナルを使って灯体をコントロールする場合、全ての灯体に DMX スタートアドレスの設定を行う必要があります。スタートアドレスを設定する事によって、DMX コントローラーからの送られたデジタルの情報を灯体が”読み取り”、正しい灯体が正しい信号に対して反応するようになります。本製品下部にあるディスプレイ上でスタートアドレスを設定します。

全ての灯体、あるいは一つのグループの灯体に同じアドレスを設定する事も、全灯体に異なるスタートアドレスを設定する事も可能です。

同じスタートアドレスが設定された灯体は、同一のチャンネルから同じ信号を受け取ることになり、一つのチャンネルの設定を変更する事で全ての灯体を同時に変更する事が出来ます。逆に異なるアドレスを設定した各灯体は、個別に設定されたチャンネルからの信号を受け取ることになり、一つのチャンネルの設定を変更すると、そのチャンネルに対して選択された灯体のみが変更されます。

本製品を複数台ご利用の場合、本製品は 24 チャンネルの灯体なので、最初の灯体のスタートアドレスは1、その次の灯体のスタートアドレスは 25(1 + 24)、3 番目の灯体は 49(25 + 24)・・・というようにアドレスを設定します。



コントロールボード

コントロールボードを使って、スタートアドレスの設定、ランプのオン・オフ、プリセットプログラムの起動やリセットなど様々な操作を行います。

ディスプレイが点灯するまで MODE/ESC ボタンを押して、メインメニューにアクセスします。UP/DOWN ボタンを押してメニューを閲覧し、変更したい内容を選んで ENTER ボタンを押します。選択する内容を UP/DOWN ボタンで変更し、ENTER ボタンで確定します。各メニューの最中で MODE/ESC ボタンを押すとメインメニューに戻ります。各機能は以下のセクションで操作/変更する事が出来ます。

Function Mode	Set DMX Address	A001-AXXX		DMX アドレスの設定
	Value Display	PAN Moving.....		
Function Mode	Set To Slave	Slave1, Slave2, Slave3		スレーブの設定
	Auto Program	Master / Alone		
Function Mode	Music Control	Master / Alone		サウンドアクティブ
Information	Time Information	Current Time	XXXX(Hours)	電源 ON にしてからのランニングタイム
		Total Run Time	XXXX(Hours)	灯体の動作時間
		Total Lamp Time	XXXX(Hours)	ランプの動作時間
		Lamp Off Time	XXXX(Minute)	ランプ OFF 時のタイム
		Clear Lamp Time	ON/OFF	ランプタイムのクリア
	Temperature Information	Base Temperature	XX °C	ベース部ディスプレイボードの温度
		Head Temperature	XXX °C	ヘッド部の温度
	Software Version	Ver1.1		各 IC のソフトウェアバージョン
Lamp Control	Lamp On or Off	ON/OFF		ランプの On/Off
	Automatic La-On	ON/OFF		電源 On 時のランプ On/Off
	Lamp On Via DMX	ON/OFF		DMX によるランプ On
	Lamp Off Via DMX	ON/OFF		DMX によるランプ Off
	Lamp Off No DMX	OFF, OFF-19M		DMX を使わないランプ Off
	Lamp On at Temp	45C, 20-79C (113F, 68-174F)		温度によるランプのリスタート
	Lamp Off at Temp	130C, 80-139C (266F, 76-282F)		温度によるランプのオフ
Personality	Status Setting	Address via DMX	ON/OFF	DMX によるアドレス設定
		No DMX Status	Auto/Music/Close/Hold	DMX 無しでオートラン
		Pan Reverse	ON/OFF	パンリバース動作
		Tilt Reverse	ON/OFF	チルトリバース動作
		Fine Resolution	ON/OFF	高解像度スイッチ

Personality	Status Setting	Pan Degree	630/540		パン角度選択
		Feedback	ON/OFF		フィードバックの ON/OFF
		Movement Speed	Speed 1-4		スキャンモードの選択
		Mic. Sensitivity	70%, 0-99%		マイク感度調整
	Fans Control	Auto Fans Speed High Fans Speed			ファンのスピードモード 選択
	Temperature C/F	Celsius Fahrenheit			温度切り替えスイッチ Between C/F
Initial effect	PAN :	PAN=XXX :		最初のエフェクト位置	
Reset Default	ON/OFF			工場出荷時設定へリセット	
Reset Function	Reset All				全モーターのリセット
	Reset Pan & Tilt				PAN/TILT のリセット
	Reset Colors				カラーホイールのリセット
	Reset Gobos				ゴボのリセット
	Reset Shutter				シャッターもしくはディマー のリセット
	Reset Others				その他モーターのリセット
Effect Adjust	Test Channel	PAN ……			テスト機能
	Manual Control	PAN :	PAN=XXX :		ランプの微調整
	Calibrate Values	—Password— Color Wheel :	Password=XXX Color wheel=XXX :		エフェクトのキャリブレーション調整 パスワード “050”
Users Mode Set	User Mode	XXXXXX (Band) User Mode A User Mode B User Mode C			チャンネルナンバー変更用の ユーザーモード
	Edit User Mode	PAN :	PAN=CH01 :		プリセットのユーザーモード
Edit Program	Select Programs	Auto Pro Part1 Auto Pro Part2 Auto Pro Part3	Program1-10 Program1 Program1-10 Program2 Program1-10 Program3		使用するプログラムの選択
	Edit Program	Program 1 : Program10	Program Test Step01=SCxxx Step64=SCxxx	(“STEPXX”)	プログラムのテスト ループのプログラム 保存と編集
	Edit Scenes	Edit Scene 001 - Edit Scene 250	Pan, Tilt … —Scene Time— Input By outside	Pan=xxx… TIME=XX.XS	保存、マニュアルによるシーン 編集へのオートリターン
	Rec. Controller	XX-XX			自動シーン記録

FUNCTION MODE メニュー

DMX アドレス設定:

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Set DMX Address と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して使用したいアドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。新しいアドレスが保存されると自動的にメインメニューに戻ります。

DMX 値の表示:

各チャンネルの DMX512 値を表示します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Value Display と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して表示させたいチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。選択されると自動的にメインメニューに戻ります。

スレーブの設定:

本製品をスレーブに設定します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Set To Slave と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して設定するスレーブを選択し、ENTER ボタンを押します。選択されると自動的にメインメニューに戻ります。

オートプログラム:

内蔵プログラムを起動します。

1. MODE-ESC を押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Auto Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Master / Alone を選択し、ENTER ボタンを押します。

サウンドアクティブ:

内蔵のプログラムをサウンドアクティブモードで起動します。

1. MODE-ESC を押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Function Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Music Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Master / Alone を選択し、ENTER ボタンを押します。

INFORMATION メニュー

各時間の表示:

- ・ Current Time: 電源を ON にしてからの稼働時間を表示します。
 1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
 2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
 3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
 4. UP/DOWN ボタンを押して Current Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと電源を ON にしてからの稼働時間が表示されます。
 5. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。
※電源をOFFにするとリセットされます。
- ・ Total Run Time: 本製品の合計稼働時間を表示します。
 1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
 2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
 3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
 4. UP/DOWN ボタンを押して Total Run Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと本製品の合計稼働時間が表示されます。
 5. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。
- ・ Total Lamp Time: 電球の点灯時間を表示します。
 1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
 2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
 3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
 4. UP/DOWN ボタンを押して Total Lamp Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと電球を ON にしてからの稼働時間が表示されます。
 5. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

・ Lamp off time: 前回電球を ON にしてからの点灯時間を表示します。電球を OFF にするとリセットされます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off Time と表示させ、ENTER ボタンを押すと前回電球を ON にしてからの点灯時間が表示されます。
5. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

・ Clear lamp time: 電球の点灯時間をリセットします。電球を替えた時は必ず点灯時間をリセットするようにして下さい。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Time Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Clear Lamp Time と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して Yes と表示させ、ENTER ボタンを押すと、電球の点灯時間をリセットします。
6. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

温度の表示:

・ Base Temp: ベース部分(LCD ディスプレイ近傍)の温度を摂氏で表示します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Temperature Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Base Temperature と表示させ、ENTER ボタンを押すと、ベース部分の温度を表示します。
5. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

・ Head Temp: ベースのディスプレイボード(CMY フィルター近傍)の温度を摂氏で表示します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Temperature Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Head Temperature と表示させ、ENTER ボタンを押すと、ヘッド部分の温度を表示します。
5. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

ソフトウェアバージョンの表示:

本製品のソフトウェアのバージョンを表示します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Information と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Software Version と表示させ、ENTER ボタンを押すと、本製品のソフトウェアバージョンを表示します。
4. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

LAMP CONTROL メニュー

電球の点灯/消灯:

コントロールボード上で電球の ON/OFF の操作を行います。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp On or Off と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

電球の自動点灯:

本体の電源 ON 時、自動的に電球が ON になるよう設定します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Automatic La-On と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

外部コントローラーを使った電球の点灯:

外部コントローラーを使って電球の点灯操作を行う事が出来ます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp On Via DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

外部コントローラーを使った電球の消灯:

外部コントローラーを使って電球の消灯操作を行う事が出来ます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off Via DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

DMX 信号の有無による電球の操作:

DMX 信号を受信していない時、自動的に電球が消灯します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off No DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

温度による電球の点灯:

電球の自動消灯後、電球が再点灯する内部温度を設定します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp On at Temp と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

温度による電球の消灯:

電球が自動消灯する内部温度を設定します。エンコーダーを回し、最大内部温度を 80°C から 139°C の範囲で選択します。(注: 外部温度は 45°C を超えないようにして下さい。)

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Lamp Off at Temp と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

PERSONALITY メニュー

各種ステータス設定

DMX アドレスの設定:

外部コントローラーを使って DMX アドレスの設定を行います。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Address Via DMX と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して ON を選択し、ENTER ボタンを押すと、この機能が使えるようになります。
6. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。
7. コントローラーでチャンネル1の DMX 値を”7”に設定します。
8. チャンネル2の DMX 値を”7”か”8”に設定します。”7”に設定した時は、スタートアドレスを1から255の範囲でスタートアドレスを設定します。”8”に設定した時はスタートアドレスを256

から 511 の範囲で設定します。

9. チャンネル 3 の DMX 値を任意のスタートアドレスに設定します。チャンネル 3 のスタートアドレスを 57 にしたい時はチャンネル 1 の DMX 値を 7、チャンネル 2 の DMX 値を 7、チャンネル 3 の DMX 値を 57 に設定します。同様にチャンネル 3 のスタートアドレスを 420 にしたいのであれば、チャンネル 1 を”7”、チャンネル 2 を”8”、チャンネル 3 を”164”に設定します。
($256+164=420$)

※ 本体がリセットを実行するのに 20 秒程かかります。その後スタートアドレスが設定されます。

DMX 信号を受信していない時の設定:

DMX 信号を受信していない状態での起動パターンを Close, Hold, Auto, Music の中から選択します。デフォルトの設定では Hold になっています。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して No DMX Status と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して Auto / Music / Close / Hold から選択し、ENTER ボタンを押します。選択されると自動的にメインメニューに戻ります。

パンリバーズ:

パンの動作を反転させます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して PAN Reverse と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。
6. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

チルトリバーズ:

チルトの動作を反転させます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Tilt Reverse と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。
6. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

ファインリゾリューション(高解像度):

パン、チルト動作を高解像度モードに切り替えます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Fine Resolution と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

パン角度:

パン動作の角度を 630° もしくは 540° のどちらかに設定します。デフォルトの設定では 540° になっています。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Pan Degree と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して 630 / 540 を選択し、ENTER ボタンを押します。

スキャンフィールドバック:

パン、チルト動作のスキャンフィールドバック機能を有効にします。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Feedback と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

スキャンモードセレクト:

スキャンモードを 1 から 4 のどれかに設定します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Movement Speed と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して Speed1-4 を選択し、ENTER ボタンを押します。

マイク感度:

内蔵マイクの感度を 0%から 99%の範囲で調節します。デフォルトの設定では 70%となっています。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Stats Setting と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Mic. Sensitivity と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して 0-99%で選択し、ENTER ボタンを押します。

ファンの調節:

ファンのスピードを調節します。オートファンと高速ファンの 2 種類の中から選択します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Fans Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Auto Fans Speed / High Fans Speed を選択し、ENTER ボタンを押します。

表示温度単位の設定:

表示される温度の単位を摂氏か華氏のどちらかで選択します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Temperature C/F と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Celsius / Fahrenheit を選択し、ENTER ボタンを押します。

初期エフェクト値の設定:

各チャンネルがどの値から始まるか設定します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Initial effect と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して変更するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して数値を変更し、ENTER ボタンを押します。

工場出荷時の設定に戻す:

本製品を工場出荷時の設定に戻します。全ての設定はデフォルトの値に戻されます。また編集したシーンは失われます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Personality と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Reset Default と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して On / Off を選択し、ENTER ボタンを押します。

Reset-Functions メニュー

コントロールボード上で本製品のリセット動作を行います。エンコーダーを回してリセットする動作内容を選択します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Reset Function と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押してリセットするチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。

Effect Adjust メニュー

各チャンネル機能のテスト:

各チャンネルの機能が正しく動作しているかテストを行います。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Effect Adjust と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Test Channel と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してテストするチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。

電球の調整(マニュアルでの操作):

全てのエフェクトがキャンセルされ、シャッターが開きディマーの強さが 100%に設定されます。各機能を使って壁面に照射し、電球の微調整を行います。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Effect Adjust と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Manual Control と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して調整するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して数値を調整し、ENTER ボタンを押します。
6. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

キャリブレーション調整:

エフェクトホイールの位置のキャリブレーション調整を行います。パスワードは 050 に設定されています。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Effect Adjust と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Calibrate Values と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Password050 と表示させ、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して調整するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
6. UP/DOWN ボタンを押して数値を調整し、ENTER ボタンを押します。

USERS MODE SET メニュー

ユーザーモード:

ユーザー指定のチャンネルの順番を作ります。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して User Mode Set と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して User Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してモードを選択し、ENTER ボタンを押します。

ユーザーモードの編集:

プリセット、およびユーザー指定のチャンネルの順番を調整します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して User Mode Set と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Edit User Mode と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して編集するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して数値を調整し、ENTER ボタンを押します。

EDIT PROGRAM メニュー

プログラムの選択:

起動するプログラムを選択します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Auto Pro Part1-3 を選択し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して Program1-10 を選択し、ENTER ボタンを押します。

プログラムの編集:

内臓プログラムを編集します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して編集するプログラムを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して編集するステップを選択し、ENTER ボタンを押します。

シーンの編集:

プログラム内のシーンを編集します。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Edit Scenes と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して編集するシーンを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して編集するチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。

オートシーンレコード:

内臓の DMX レコーダーを使って、DMX コントローラーでプログラムしたシーンをムービングヘッドに転送します。エンコーダーを使って始まりと最後のシーン番号を指定します。コントローラー内のシーンを呼び出すと、自動的にムービングヘッドに転送されます。

1. MODE-ESC ボタンを押してメインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して Edit Program と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して Rec. Controller と表示させ、ENTER ボタンを押します。

DMX チャンネル表

DMX チャンネルの機能と DMX 値

Channel 1 PAN 8bit		
Channel 2 PAN FINE 16bit		
Channel 3 TILT movement 8bit		
Channel 4 TILT FINE 16bit		
Channel 5 カラーホイール		
0-13	オープン / ホワイト	
14-27	カラー1	
28-41	カラー2	
42-55	カラー3	
56-69	カラー4	
70-83	カラー5	
84-97	カラー6	
98-111	カラー7	
112-127	カラー8	
128-187	レインボーエフェクト(FAST→SLOW)	
188-193	回転無し	
194-255	レインボーエフェクト(SLOW→FAST)	
Channel 6 シアンカラーホイール		
0-255	シアン (0-ホワイト、255-シアン 100%)	
Channel 7 マゼンタカラーホイール		
0-255	マゼンタ(0-ホワイト、255-マゼンタ 100%)	
Channel 8 イエローカラーホイール		
0-255	イエロー(0-ホワイト、255-イエロー100%)	
Channel 9 回転ゴボホイール		
0-9	オープン	
10-19	回転ゴボ 1	
20-29	回転ゴボ 2	
30-39	回転ゴボ 3	
40-49	回転ゴボ 4	
50-59	回転ゴボ 5	
60-69	回転ゴボ 6	
70-89	ゴボ 1 シェーク(SLOW→FAST)	
90-109	ゴボ 2 シェーク(SLOW→FAST)	

110-129	ゴボ 3 シェーク(SLOW→FAST)	
130-149	ゴボ 4 シェーク(SLOW→FAST)	
150-169	ゴボ 5 シェーク(SLOW→FAST)	
170-189	ゴボ 6 シェーク(SLOW→FAST)	
190-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW→FAST)	
Channel 10 回転ゴボインデックス		
0-127	ゴボインデックス	
128-189	回転ゴボホイール/時計回り(FAST→SLOW)	
190-193	回転無し	
194-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW→FAST)	
Channel 11 反回転ゴボ		
0-9	オープン	
10-19	回転ゴボ 1	
20-29	回転ゴボ 2	
30-39	回転ゴボ 3	
40-49	回転ゴボ 4	
50-59	回転ゴボ 5	
60-69	回転ゴボ 6	
70-89	ゴボ 1 シェーク(SLOW→FAST)	
90-109	ゴボ 2 シェーク(SLOW→FAST)	
110-129	ゴボ 3 シェーク(SLOW→FAST)	
130-149	ゴボ 4 シェーク(SLOW→FAST)	
150-169	ゴボ 5 シェーク(SLOW→FAST)	
170-189	ゴボ 6 シェーク(SLOW→FAST)	
190-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW→FAST)	
Channel 12 回転ゴボインデックス		
0-127	ゴボインデックス	
128-189	回転ゴボホイール/時計回り(FAST→SLOW)	
190-193	回転無し	
194-255	回転ゴボホイール/反時計回り(SLOW→FAST)	
Channel 13 3面回転プリズム、プリズム/ゴボマクロ		
0-3	オープン	
4-63	前方回転(FAST→SLOW)	
64-67	回転無し	
68-127	後方回転(SLOW→FAST)	
128-135	マクロ 1	

136-143	マクロ 2	
144-151	マクロ 3	
152-159	マクロ 4	
160-167	マクロ 5	
168-175	マクロ 6	
176-183	マクロ 7	
184-191	マクロ 8	
192-199	マクロ 9	
200-207	マクロ 10	
208-215	マクロ 11	
216-223	マクロ 12	
224-231	マクロ 13	
232-239	マクロ 14	
240-247	マクロ 15	
248-255	マクロ 16	
Channel 14 フォーカス		
0-255	遠方から近距離まで連続調整	
Channel 15 無段階ズーム		
0-255	ズームの調整	
Channel 16 シャッター/ストロボ		
0-31	シャッタークローズ	
32-63	シャッターオープン	
64-95	ストロボエフェクト(SLOW→FAST)	
96-127	シャッターオープン	
128-159	パルスエフェクト	
160-191	シャッターオープン	
192-223	ランダムストロボエフェクト(SLOW→FAST)	
224-255	シャッターオープン	
Channel 17 デイマー		
0-255	輝度 0-100%	
Channel 18 アイリス		
0-191	アイリス操作(最大直径→最小直径)	
192-223	クローズパルスエフェクト(FAST→SLOW)	
224-255	オープンパルスエフェクト(SLOW→FAST)	
Channel 19 フロストフィルター		
0-191	フロストフィルター(0%→100%)	

192-223	オープンパルスエフェクト(FAST→SLOW)	
224-254	クローズパルスエフェクト(SLOW→FAST)	
255	最大フロスト	
Channel 20 ファイヤーホイール		
0-7	オープン	
8-127	前方回転(FAST→SLOW)	
128-135	回転無し	
136-255	後方回転(SLOW→FAST)	
Channel 21 CMY スピード		
0-255	スピード (Max □ > Min)	
Channel 22 カラーマクロ(CMY とカラーホイール)		
0-7	OFF	
8-15	マクロ 1	
16-23	マクロ 2	
24-31	マクロ 3	
32-39	マクロ 4	
40-47	マクロ 5	
48-55	マクロ 6	
56-63	マクロ 7	
64-71	マクロ 8	
72-79	マクロ 9	
80-87	マクロ 10	
88-95	マクロ 11	
96-103	マクロ 12	
104-111	マクロ 13	
112-119	マクロ 14	
120-127	マクロ 15	
127-135	マクロ 16	
136-143	マクロ 17	
144-151	マクロ 18	
152-159	マクロ 19	
160-167	マクロ 20	
168-175	マクロ 21	
176-183	マクロ 22	
184-191	マクロ 23	
192-199	マクロ 24	

200-207	マクロ 25	
208-215	マクロ 26	
216-223	マクロ 27	
224-231	マクロ 28	
232-239	マクロ 29	
240-247	マクロ 30	
248-255	マクロ 31	
Channel 23 パン/チルト・スピード		
0-255	スピード (Max→Min)	
226-235	動作によるブラックアウト	
236-245	ホイールチェンジによるブラックアウト	
246-255	機能無し	
Channel 24 電球オン/オフ、リセット、内部プログラム		
0-19	ノーマルカラーチェンジ(ソリッドカラー)	
20-39	色の分割	
40-59	電球オン	
60-79	電球オフ	
80-84	全モーターリセット	
85-87	スキャンモーターリセット	
88-90	カラーモーターリセット	
91-93	ゴボモーターリセット	
94-96	シャッター/ディマーモーターリセット	
97-99	その他モーターリセット	
100-119	内部プログラム 1	
120-139	内部プログラム 2	
140-159	内部プログラム 3	
160-179	内部プログラム 4	
180-199	内部プログラム 5	
200-219	内部プログラム 6	
220-239	内部プログラム 7	
240-255	サウンドアクティブ (Program 1 のシーン)	

エラーコード

電源を入れると、灯体は自動的にリセット/テストモードになり、全ての内部モーターを一度ホームポジションにもどします。もし1つ、もしくはそれ以上のモーターに異常が見られた場合、ディスプレイ上に“XXEr”というエラーコードが表示されます。XXには各チャンネルメニューが表示されます。例えば、ディスプレイに“Cyan color ER”と表示された場合、チャンネル6に何らかのエラーがあると言う事になります。チャンネル1、3、5で同時にエラーが発生した場合、“Pan movement Er”、“TILT movement ER”、“color Er”と3つの表示が5回点滅し、灯体がりセット信号を発信して全てのモーターがりセットされます。3回以上リセットしてもまだエラーメッセージが出た場合、3つ以上のエラーが存在しないか検知します。3つ以上のエラーがある場合、全てのチャンネルが正しく動作しません。エラーが3つ未満の場合、エラーのあるチャンネルだけが正しく動作しますが、他のチャンネルは正しく動作します。

Pan Er : パン動作のエラー

起動時、及びリセットコマンド時にヨーク部がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Tilt Er : チルト動作のエラー

起動時、及びリセットコマンド時にヘッド部がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはチルト機構のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Cyan Color Er : シアン・カラーホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にシアン・カラーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Magenta Color Er : マゼンタ・カラーホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にマゼンタ・カラーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Yellow Color Er : イエロー・カラーホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にイエロー・カラーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Color Er : カラーホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にカラーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Rotation gobo Er : 回転ゴボホイール 1 のエラー

起動時、及びリセットコマンド時に回転ゴボホイール 1 がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Gobo Rotation Er : ゴボ回転ホイール1のエラー

起動時、及びリセットコマンド時にゴボ回転ホイール 1 がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Rotation gobo Er : 回転ゴボホイール 2 のエラー

起動時、及びリセットコマンド時に回転ゴボホイール 2 がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Gobo Rotation Er : ゴボ回転ホイール 2 のエラー

起動時、及びリセットコマンド時にゴボ回転ホイール 2 がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターICドライブ不良)表示されます。

Prism Rotation Er : プリズムホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にプリズムホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)表示されます。

Shutter, Strobe Er : シャッター、ストロボのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にシャッター、ストロボ用ホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)表示されます。

Focus Er : フォーカスのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にフォーカスがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)表示されます。

Zoom Er : ズームのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にズームがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)表示されます。

Iris Er : アイリスのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にアイリスがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)表示されます。

Fire Wheel Er : ファイヤーホイールのエラー

起動時、及びリセットコマンド時にファイヤーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーマーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良)表示されます。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。＜期間＞内は目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 クリーニングには湿らせた柔らかい布を使用して下さい。アルコールや溶剤などは使用しないで下さい。

外側のレンズ ＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

カラーフィルター ＜一ヶ月に一度＞

■カラーフィルターが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。

ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布して下さい。

ガラス・ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布して下さい。

プリズム <一ヶ月に一度>

■プリズムレンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布して下さい。

ディマー／シャッター <一ヶ月に一度>

■ディマー／シャッターの動作状況を確認する光学センサーに埃が付着すると、正常に動作しなくなる可能性があります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部レンズ <一ヶ月に一度>

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

ファンおよび通気孔 <一週間に一度>

■ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部各種センサー <一ヶ月に一度>

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

電球ソケット部分 <一ヶ月に一度>

■電球ソケット部分に埃や汚れがつきますと、ショート恐れ、電球が切れやすくなります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認下さい。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

電球 <一ヶ月に一度>

■電球が正しく装着されていないと、埃やゴミが入り、ショートや電球破損の恐れがあります。また、電球はガラス球内部の圧力が高いものがあります。落としたり、物をぶつかけたり、傷をつけると破損/破裂の原因となります。

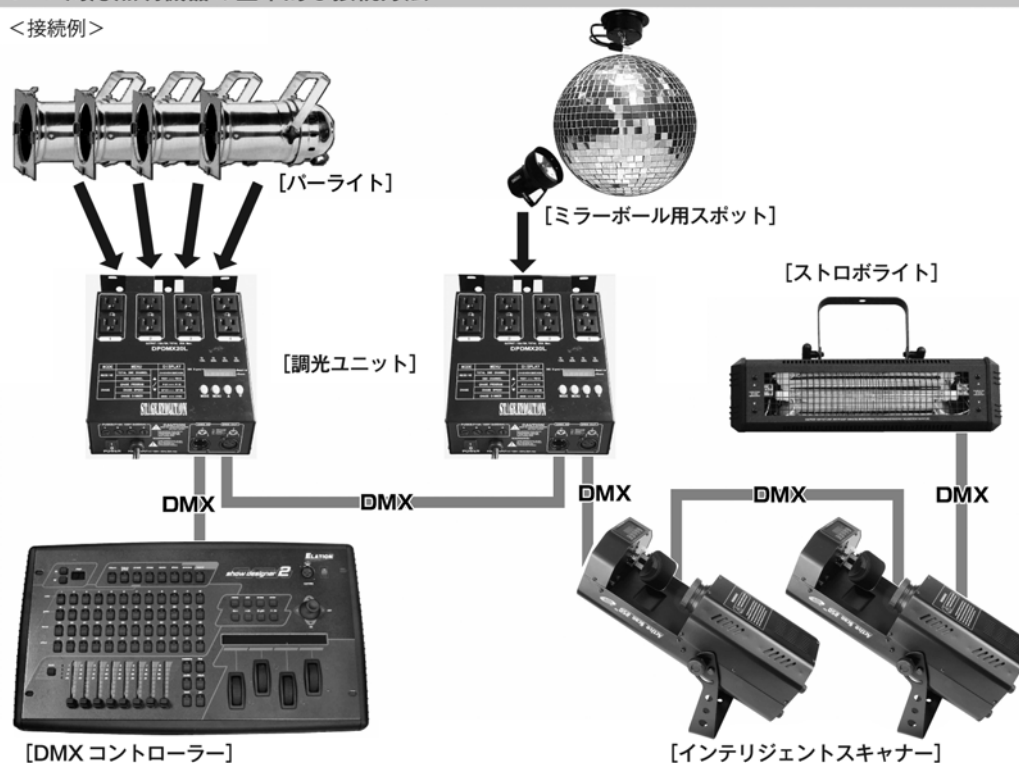
→規定の電球か、口金が錆びていないか、ヒビ等破損箇所がないかご確認下さい。

製品仕様

電源	AC100V、50/60Hz
電球	ZB-MSR 575 SA/2DE
モーター	19 マイクロモーター
カラー	8 ダイクロフィルター+ホワイト、ハーフカラー対応
箱寸法	72.5x46x57.5cm
重量	31kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※一長距離の配線について

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお勧め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

